第４号様式（第１０条関係）

会　　議　　録　（要　旨）

会　議　名	令和８年度第１回武蔵村山市在宅医療・介護連携推進協議会
開催日時	令和８年５月２７日（水）午後７時３０分～午後８時１０分
開催場所	オンライン開催
出席者及び欠席者	出席者：田中委員、横山委員、小山委員、宇津木委員、原田委員、斎藤委員、内野委員、中島委員、馬見塚委員、藤江委員、菅原委員、稲葉委員、内田委員、鹿取委員、山口委員、高齢福祉課長、高齢者支援係長及び地域包括ケア係主事 欠席者：岡田委員
議題等	報告事項１　令和７年度第３回会議録について 報告事項２　令和７年度武蔵村山市在宅医療・介護連携支援センター活動報告について 報告事項３　令和７年度武蔵村山市認知症初期集中支援チーム活動報告について 報告事項４　その他 協議事項１　令和８年度第１回多職種連携研修会について 協議事項２　武蔵村山市在宅療養ハンドブック企画書(案)について 協議事項３　その他
結論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	協議事項１：令和８年度第１回多職種連携研修会について 協議結果：令和８年８月８日(土)午後２時３０分～ テーマ「心不全とＡＣＰ」 講師　公立昭和病院　岡田医師で実施することに決定した。 協議事項２：武蔵村山市在宅療養ハンドブック企画書(案)について 協議結果：原案のとおり決定した。
審議経過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。）	開会 新任委員及び事務局職員の紹介 《報告事項１　令和７年度第３回会議録について》 事務局：　説明 委　員：　質疑なし 《報告事項２　令和７年度武蔵村山市在宅医療・介護連携支援センター活動報告について》 委　員：　説明 委　員：　質疑なし 《報告事項３　令和７年度武蔵村山市認知症初期集中支援チーム活動報告について》 事務局：　説明 委　員：　今年度の方針で体制強化の取り組みとあるが具体的な内容は？ 事務局：　現計画の「体制強化」を踏まえての記載である。 会　長：　昨年度から医師会で認知症検診を行っているが、そことの連携

	はどうなるか？ 事務局：　認知症の進んだケースの相談が多く対応が難しくなっている。認知症検診と連携することで認知症早期の段階での相談が増えるものと考える。 《協議事項１　令和８年度第１回多職種連携研修会について》 事務局：　多職種連携研修会プログラム(日程、会場、テーマ、参加対象、タイムテーブル等)説明。 開催日について委員の意見を伺う。 会　長：　会議の日程について意見はあるか？ 委　員：　意見なし 会　長：　特になければ、第１候補の８月８日(土)午後２時３０分からとし、講師に公立昭和病院の岡田先生を招いて「心不全とＡＣＰ」をテーマに行うこととする。 タイムテーブルについて質問あるか？ 委　員：　質問なし 《協議事項２　武蔵村山市在宅療養ハンドブック企画書(案)について》 事務局：　推進部会で検討した企画書（案）について説明 委　員：　具体的な改訂のイメージとして想定しているものはあるか？ また、かかりつけ医のほか、かかりつけ歯科医やかかりつけ薬局も入れていただきたい。また、歯科医師会の活動なども掲載していただきたい。 委　員：　改訂の具体的なイメージとしては、推進部会で検討した結果として企画書(案)の主たるテーマの①から③に記載したとおりである。現行のハンドブックでは、入院前、入院時、在宅医療を時系列にまとめてわかりやすいとの意見もあったが、今回は在宅医療の始め方についての掲載について意見があったため、検討している。歯科医師、薬剤師の掲載については、部会でも意見が出ており一部取り入れる予定。素案については、今後、事務局と相談しながら、部会及び協議会で協議する予定。事務局で補足があればお願いしたい。 事務局：　特にない。 会　長：　３０００部の印刷は来年も行うのか？ 事務局：　来年以降については未定である。 会　長：　在庫はどのくらいあるのか？ 事務局：　在庫は確認していない。 会　長：　在庫があるのであれば、医療機関で活用したい。 事務局：　確認する。 《協議事項２　その他》 会　長：　委員又は事務局から何かあるか？ 事務局：　令和８年度事業予定について説明 ６月の推進部会は、ハンドブックの素案を作成してから実施するため９月に変更する。 ２月の第２回多職種連携研修会は感染症予防のため、オンラインでの開催も検討している。 委　員：　意見なし 終　　了

会議の公開・非公開の別	■公　　開　　傍聴者：　０人 □一部公開 □非 公 開 ※一部公開又は非公開とした理由 （　　）

会議録の開示・非開示の別	■開　　示 □一部開示（根拠法令等：　　） □非 開 示（根拠法令等：　　）

庶務担当課	健康福祉部高齢福祉課（内線：６３２）

（日本産業規格Ａ列４番）